

評価年度

令和 6 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町中央児童センター
指定管理者名	社会福祉法人 遊創の森
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・場 所：利府町中央二丁目11番地2 ・敷地面積：3,0508.41㎡ ・建物概要：鉄筋コンクリート造 2階 延床面積 1,743.23㎡ 駐車場 31台（ゆずりあい駐車場2台） 駐輪場① 29.60㎡ 駐輪場② 17.60㎡ ・主な施設：1階 遊戯室、子育て広場、学習室・図書室・集会室、多目的室、授乳室、相談室、事務室 2階 児童クラブ室、静養室 3階 多目的ホール（郷土資料館（仮設）） 屋外 軽運動場、児童広場、緑地等
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
来館者数合計(人)	63,886				
利用料金収入合計(円)	0				

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	児童館事業の参加数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業（「子育て広場」を除く）に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)	5,000				
実績値(人)	14,350				
達成度(%)	287.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2

指標名(単位)	子育て広場利用者数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業「子育て広場」に関する利用来館者数を計るものとする

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)	6,000				
実績値(人)	49,536				
達成度(%)	825.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

評価(5段階)	評価理由
B	初年度として、予想以上の来館者があり目標人数を大きく上まってはいたが、こちらが意図したのではなく、あくまでも室内大型遊具といったハード面が来館者の興味を引いた結果であると考えています。特に、利府町内の利用人数に関してはまだまだ改善していきたいと思えます。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

① 児童館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館	4月～3月	「遊びによるこどもの育成」、「こどもの居場所の提供」、「こどもの意見を述べる場の提供」、「配慮を必要とするこどもへの対応」、「子育て支援の実施」、「地域の健全育成の環境づくり」、「ボランティア等の育成と活動支援」、「地区児童館との連携」ということを考え実践してきました。町内児童館の中心としての役割を念頭に、地域と連携しながら乳幼児期から高校生世代まで切れ目ない支援をしてきました。
児童クラブ	4月～3月	「こどもの健全な育成と遊び及び生活の支援（育成支援）」、「保護者との連携」、「こどもの発達理解」という児童クラブ運営指針にある柱を軸に、利府町児童クラブ条例に従い運営をおこないました。①遊びを通した集団生活の場の提供②安心安全に過ごす場の提供③こどもたちの健全育成を提供できる場の提供ができるよう心がけてきました。
子育て広場	4月～3月	「親同士の交流推進」、「子育て等に関する相談・援助」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子育て及び子育て支援に関する講習」ということを考え実践してきました。0歳から18歳までの児童福祉施設であることを意識し、切れ目ない子育て支援を実践できるよう、様々な機関と連携しながらおこなってきました。

(2) 提案事業

① 児童館 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
小中高生対象 べあくるフライデー	6月～3月	制作やゲーム等を通して、チャレンジする心を育むとともに、異年齢同志の交流の場としての提供しました
小中高生対象 子どもボランティア べあくるー	5月～3月	子どもボランティアとして、児童館行事の手伝いや自分たちの企画として実施しました
中高生対象 中高生タイム	11月～3月	毎日17:30～20:00の間、集会室を中高生世代に開放し、居場所として提供しました
中高生対象 ワークショップ	11月 2月	11月にミニピザ、2月焼きそばづくりを実施。 「家でできる軽食」のワークショップとともに、学生・職員間交流もはかりました

②児童クラブ 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
チャレンジデー	4月～3月	児童クラブの子が、けん玉など様々なことに挑戦する機会の提供しました
作って遊ぼう	4月～3月	児童クラブの子が、身近にある物を利用して、制作し遊ぶ機会の提供しました
誕生日会	4月～3月	児童クラブの子の誕生日を、誕生カードをプレゼントしてお祝いする会をしました
まち探検	3月	「こども110番の家ってなあに？」 利府町生涯学習課に講師をお願いし、郵便局とJAをまわりながらこども110番を知りました

③子育て広場 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
べあくるタイム	5月～3月	今年度事業計画の「遊ぼう！ハッピータイム」の名称を変更。親子ふれあいをテーマに季節に応じた企画をおこないました。
はかーる	4月～3月	身長・体重の計測をおこない、記録することで成長を実感する機会を提供しました。
子育てサロンとこてく	9月 12月	講師を招き、講座を開くとともに参加者同士の交流を行う場の提供しました。
幼児クラブ（登録制）	9月～2月	年間を通して開催し子ども同士・親同士のつながりができる場を提供しました。

(3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
児童センター事業 保育所交流会	9月10月3月	地域の保育園に声をかけ、児童センターとの交流をはかりました。
児童センター事業 児童センターまつり	2月	「SDG s を知ろう」をテーマに、工作やゲーム、ワークショップを通じて、SDG s を楽しみながら学びました
児童クラブ事業 お楽しみ会	8月、12月	高学年が企画したおまつりやゲーム大会をおこないました。
子育て広場事業 人形劇団「ごきげん座」がやってくる	11月	幼児クラブを対象に、プロの人形劇にふれる機会をつくりました
児童センター事業 利府町内児童館・児童クラブ ネットワーク研修	12月	利府町内の児童館・児童クラブに声をかけ、救急救命と個人情報についての研修をおこないました

評価（5段階）	評価理由
S	児童クラブでは、夏休みなど長期休業期間を利用し、季節の行事等様々な事業をおこなってきました。しかしながら、児童館並びに子育て広場の事業では、想定を上回る来館者がきたこともあり、4月から思うようにできず、回数をおこなうことができませんでした。

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	児童館児童クラブ利用者アンケート（対象者：自由来館者、児童クラブ利用者）
目標値の基準	ゲーグルフォームをつかったアンケートを実施、回収目標を40%としました

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	40.0%				
実績値(%)	4.4%				
達成度(%)	11.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
利用者アンケート	9月	児童館児童クラブ利用者アンケート（対象者：自由来館者、児童クラブ利用者）を実施しました。

評価（5段階）	評価理由
B	アンケート回答の中で、8割以上が「良い」、「まあまあ良い」との評価をいただいた。今後、回収率の増加に努めていきます。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和6年度予算	令和6年度決算	予算決算比
収入 (a)	78,399,000	78,399,000	0
指定管理料	78,399,000	78,399,000	0
利用料金収入			0
（うち、減免補填額）			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)	78,399,000	78,399,000	0
人件費	46,761,000	46,761,030	0
事務事業費	5,656,000	5,656,046	0
維持管理費	3,726,000	3,725,769	0
その他の支出	22,256,000	22,256,155	0
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	健全な財政状況である。
------	-------------

評価（5段階）	評価理由
A	指定管理料の範囲内で運営しているので適正である。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認し、実施した。
実施時期	令和7年6月27日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（5段階）	評価理由
A	常に、安全管理を行いながら、積極的に各種事業を行っていた。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

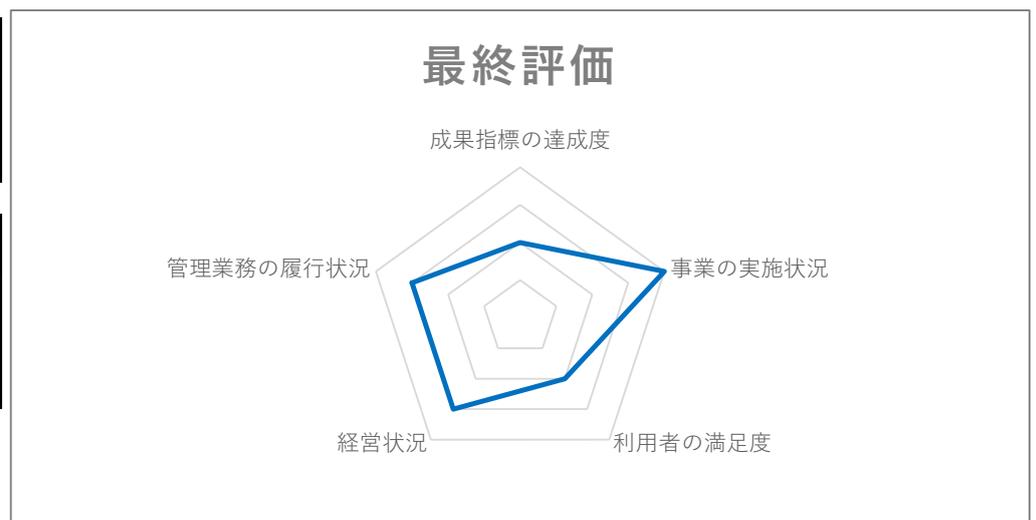
自己評価点数	<p>今年度より、利府町の中心となる児童福祉施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、または情緒を豊かにするため、改正児童館ガイドライン及び利府町児童館条例をに沿った運営を念頭に事業をおこなってまいりました。</p> <p>想像以上の来館者数もあり、初年度は手探りの状況で進めてきた面も多々ありましたが、他の児童館・児童クラブや関連施設、地域の皆様のご支援もあり、なんとか年間を通して事業を行うことができたというのが率直な気持ちです。</p> <p>来年度に向け、今年度の反省を十分に踏まえながら、「こどもたちの居場所」づくりを進めてまいります。</p>
55	
自己総合評価	
S	

9. 所管課意見

<p>昨年4月に新たな児童福祉の拠点施設として開館以降、多くの来館者があり対応に苦慮していたが、入場整理券の配布や利府町民が優先利用できる「とふっこデー」を設ける等、臨機応変に対応して頂いた。</p> <p>児童クラブの運営では、入所する児童数が大変多い中でも、子どもたちに「目配り・気配り」しながら、様々な事業を実施するなど、子どもたちが楽しく過ごせるように運営に努められていた。地域との交流事業が少なかったため、今後は積極的な交流を図ってほしい。</p> <p>子育て広場も町内外合わせて利用者が大変多く、事業を軌道に乗せることに苦慮していたが、徐々に定着してきていると感じている。相談事業は、保護者の方々が安心して相談できる環境を提供できるように、今以上に尽力して頂きたい。</p> <p>児童館事業については、特に中高校生の居場所づくりについて、様々なチャレンジを試みていたと感じているが、まだ定着までは結びついていないので、今後も学校と密に連携を図りながら居場所づくりに注力してほしい。</p> <p>なお、児童福祉の拠点施設として、西部児童館・東部児童館とも連携を図り、地域交流も積極的にいながら、今後の運営へ繋げてほしい。</p>
--

最終評価

総合点数
70
最終評価
A



評価年度

令和 6 年度

1. 事業実施状況

(1) 指定事業

※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
児童館 （児童健全育成事業） （地域交流推進事業）	319回	実施回数318回 実施回数に関しては、2月15日に全館清掃により休館としたため1回少なくなりました。来館者の見込み違い等の理由により、中高生タイムが11月になるなど、当初の予定より時期がずれ込むものが多くなってしまいました。自主事業に関しては、来館者が多くなった夏休み中に工作のイベントを定期的に行うなど、館内が分散するよう工夫しました。ただ結果として提案事業の実施回数が計画回数より少なくなってしまったこともあり、このような評価としました。	△	○
児童クラブ （放課後児童健全育成事業）	293回	実施回数293回 活動場所が前年度と変わってしまったこともあり、どのようにしていくのが良いか、試行錯誤の連続でした。提案事業に関しては、昨年からの事業を継続しておこないましたが、自主事業に関しては、夏休みや冬休みといった長期休業中のものを増やし、毎週何かしらの行事ができるようにしました。また、お楽しみ会など子どもたちの意見を取り入れ、自主性を重んじたものができた手ごたえがあり、このような評価としました。	○	○
子育て広場 （子育て支援事業）	293回	実施回数292回 児童館と同様、実施回数に関しては、2月15日に全館清掃により休館としたため1回少なくなりました。想定外の来館者が押し寄せたこともあり、提案事業は予定よりも開始時期が遅くなり、計画回数に満たなかったため、このような評価としました。ただ、幼児クラブでは、10組を想定していたものが20組の応募があったため追加別日に新たなグループをつくり、臨機応変に対応できたと考えます。また、自主事業では、人形劇やサンタなど、「本物」にふれる機会を作ることができ、とても喜んでもらえました。	△	△
評価点			4	5

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
小中高生対象 べあくるフライデー	月1回	20回開催 356名参加 今年度の事業計画行事「チャレンジタイム」と「みんなでつくろう」の名称を変更。小中高生行事「べあくるフライデー」として統一しました。チャレンジする心や作る楽しさを育むとともに、異年齢同志の交流の場としました。想定外の来館者数による事前募集行事の見合わせにより6月より行いました。	○	○
小中高生対象 子どもボランティア べあくるー	定例会 月1回	10回開催 小学生15名、中学生1名、高校生2名 計18名登録 小学3年生以上を対象に、6月からの定例会とともに、ハロウィンやクリスマスのセンター行事や園芸などのお手伝いをしてもらいました。12月には自主行事として、「キラキラスノードームづくり」をおこない、小学生10名に作り方をレクチャーしました。	△	△
中高生対象 中高生タイム	毎日	127回開催 17:30～20:00まで 11月より集会室を開放して、中高生世代の居場所づくりをおこないました。冷たい飲み物を自由に飲めるようにするなど工夫していましたが、まだ定着するまでには至りませんでした。	△	△
中高生対象 ワークショップ	4回	2回開催 21名参加 11月にミニビザ、2月焼きそばづくりを実施。 帰宅前の中高生が興味をもつ「食べる」ワークショップをおこないました。また、学生・職員間交流をはかりながら、中高生世代の居場所作りの意見をもらい	△	△
児童クラブ事業				
チャレンジデー	毎月	12回開催 1週間の期間を設け、毎月テーマを決め、様々なことにチャレンジします。 けん玉や紙飛行機飛ばし、また運動だけではなく、「英語にチャレンジ」したりするなど、工夫しながら挑戦する楽しさを育みました。また11月には、第二児童クラブと合同で対抗戦をおこない、ありがとうございました。	○	○
つくってあそぼう	毎月	12回開催 月ごとに様々な制作遊びをおこないます。発達段階を考慮しながら、どの学年でも楽しめるようなものを用意しました。ハロウィンではマントをつくるなど、季節も考えながら工夫しました。	○	○
誕生会	毎月	12回開催 その月の誕生日の子を誕生カードを渡してお祝いします。誕生カードは保護者に好評でしたが、会としては、学年が上がるにつれ恥ずかしさもあり、こどもたちが喜ぶようなものには工夫が足りませんでした。	○	○
まち探検	4回	1回開催 83名参加 「こども110番の家ってなあに？」ということで、生涯学習課の方を講師として、JAと郵便局へこども110番の家を見学にいきました。今年度は、結果的に1回のみ開催となりました。	△	△
子育て広場事業				
べあくるタイム	月1回	11回開催 147名参加 今年度事業計画の「遊ぼう！ハッピータイム」の名称を変更。親子で楽しめる企画、特に親子ふれあいをテーマに季節に応じた企画内容でおこないました。	○	○
はかーる	月1回	9回開催 294名参加 身長・体重の計測をおこない、記録することで成長を実感する機会の提供しました。	○	○
つくーる	8回	3回開催 15名参加 簡単な制作や季節を生かした創作活動を通して、造形表現をする機会の提供しました。工作行事への応募が少なく、内容の再考が必要と感じました。	△	△
おはなし会	月1回	11回開催 324名参加 未就学児親子にパネルシアターや大型絵本の読み聞かせなどを通して、物語の世界を楽しむ機会の提供しました。	○	○
子育てサロン「とこてく」	4回	2回開催 12名参加 講師を招き、講座を開くとともに参加者同士の交流を行う場の提供しました。今年度は、読み聞かせの講師にきてもらい、お話をしてもらいました。	△	△
幼児クラブ（登録制）	月1回	9回開催 延べ169名参加 未就学児親子対象、年間を通して開催し子ども同士・親同士のつながりができる場の提供しました。応募が多数のためつき2クラスとして20組が参加しまし	○	○
評価点			22	22

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
児童センター事業 海で遊ぼうin浦戸野の島	7月	小学生対象 2回83名参加 利府町内の3年生から6年生を対象に浦戸野の島に行き、島の人のお手伝いやカレー、カヤック、島めぐりをするデイキャンプを実施し、島の人との交流をしました。
児童センター事業 海の生き物サンキャッチャー作り	8月	30名参加 透明フィルムに海の生き物を描き、光を当てるとカラフルな影が映るサンキャッチャーを作りを行いました。
児童センター事業 折り紙制作	8月	25名参加 8枚の折り紙をつなぎ合わせ、キャンデーを作ったり、スイカを作ったり、夏ならではの折り紙を楽しみました。
児童センター事業 透明フィルムを使ってシュシュを作ろう	8月	25名参加 透明フィルムを重ね蛇腹折にし、夏らしいシュシュを制作しました。
児童センター事業 キラキラ万華鏡作り	8月	22名参加 専用の筒の中に、それぞれが選んだビーズやスパンコールを入れ、神秘的な万華鏡作りを行いました。
児童センター事業 かんたんペーパークラフト	8月	20名参加 トンボやネズミのペーパークラフト制作を行いました。
児童センター事業 プラバン作り	8月	13名参加 下絵を写したり、オリジナルの絵を描いたり、思い思いのプラバン制作を行いました。
児童センター事業 べあくるスタッフをさがせ	8月	75名参加 夏休み期間中に、職員との交流イベントをおこないました。職員とのゲームやミッションをクリアするとかき氷がもらえるため、普段あまり話さない職員と話す機会が生まれ、こどもだけでなく職員も楽しく参加していました。
児童センター事業 ハロウィンパーティ	10月	80名参加 児童センター主催のハロウィンイベントとして企画しました。ゲームやハロウィンにちなんだ工作、ダンスをおこない、最後に合言葉を言うとお菓子がもらえるこのイベントには、子どもボランティアもお手伝いしてくれ、とても助かりました。
児童センター事業 クリスマスイベント	12月	107名参加 児童センターのクリスマスは、ペットボトルキャップを使ったクリスマスアートやプラ板づくりをおこない、みんなでポップコーンを食べました。クリスマスアートは3Fや1Fの遊戯室や廊下に飾り、たくさんの方に見てもらいました。
児童センター事業 保育所交流会	9月10月 3月	保育所3施設 合計69名参加 10月からの団体利用の開始に合わせて、地域の保育園に声をかけ、児童センターとの交流をはかりました。児童センターを身近に感じてもらい利用につなげる目的でしたが、その後保護者と遊びに来たこどもたち「この間保育所できたよ」というこどもたちからの声がありました
児童センター事業 児童センターまつり	2月	254名参加 SDGsをテーマにイベントをおこないました。今後の継続性を考え、今回はSDGsを楽しみながら知ってもらえるよう、18の目標にちなんだワークショップや展示をおこないました。
児童センター事業 けん玉ワークショップ	2月	15名参加 ストリートけん玉の講師を招き、けん玉の楽しみ方や技を習いました。最終的には、参加者全員が何かしらのけん玉の技ができるようになり喜んでいました。

児童クラブ事業 七夕飾りをつくろう	7月	50名参加 仙台七夕に合わせて、七夕飾りの制作を7月におこないました。作った飾りは、児童クラブ入り口などに飾り、保護者だけでなく、児童センター来館者にも見てもらいました。
児童クラブ事業 映画鑑賞会	7月 8月	2回 合計275名参加 大きなスクリーンを使って、みんなで映画を見ました。チケットを高学年が作り、映画館のような仕掛けにするなど、鑑賞するだけで終わらない工夫をしました。
児童クラブ事業 郷土資料館にいこう	7月	123名参加 3Fの郷土資料館をお願いをし、2日間に分けて見学会を行いました。利府町の歴史や昔の民具などにふれ、とても有意義な会となりました。
児童クラブ事業 水遊び	8月	児童クラブ対象 2回合計109名参加 夏休みを利用して、2日に分けて実施しました。ただ水をかけあうのではなく、水ふうせんや水鉄砲を使って、いろいろなゲームに挑戦して遊びました。
児童クラブ事業 かき氷を食べよう	8月	93名参加 高学年がかき氷屋さんを開店、チケットを持って自分の好きなシロップをかけてもらい、みんなでかき氷を食べました。
児童クラブ事業 新幹線車両基地見学	8月	44名 2日間に分け、近くにある新幹線車両基地に見学にいきました。お弁当も展示してある新幹線の車両のなかで食べることができ、喜んでいました。
児童クラブ事業 お楽しみ会	8月、12月	2回開催 合計212名参加 夏休みと冬休み期間中に開催。上級生が自分たちでアイデアを出し、的あてや射的などのゲームと景品を準備しました。こどもたちは、スタンプカードをもちながら各おみせをまわり、ゲームを楽しみました。
児童クラブ事業 葉山児童クラブ交流会	8月	28名参加 児童センターに遊びに来る葉山児童クラブに合わせ、交流会を企画しました。児童クラブ室に招き歓迎のあいさつの後、ダンスを披露したりしてなしました。当日まで頑張ってお練習するなど、とてもいい経験になりました。
児童クラブ事業 カレーを食べよう	8月	123名参加 始業式の日を使って、スタッフが手作りしたカレーをみんなで食べました。今回は、始業式と準備の段階でこどもたちが学校だったため、お手伝いすることが限られてしまったことが少し残念でした。
児童クラブ事業 地域交流	9月	49名参加 地域の方々で結成する「更生保護女性会」の皆さんに児童クラブのこどもたちが昔遊びを教わりました。団体の皆さんとお互いに顔の見える関係ができ、世代間交流につながりました。
児童クラブ事業 ハロウィンでおじゃまします	10月	43名参加 交番やJA、包括支援センター、郵便局へ、マントやお面の仮装をして、お菓子をもらいにいき、交流をおこないました。こどもだけでなく渡す側の地域の皆様にも喜んで参加いただけました。
児童クラブ事業 初詣に行こう	1月	59名参加 新年初めての児童クラブ当所日に、近くの八幡神社に行ってお参りをしてきました。出かける前に、八幡神社の由来や作法を習い、みんな真剣にお参りをしていました。
子育て広場事業 人形劇団「ごきげん座」がやってくる	12月	乳幼児対象 31名参加 人形劇団の「ごきげん座」を招き、乳幼児を対象とした人形劇をおこなってもらいました。本物にふれる大切な機会として、大変喜んでもらえました。
子育て広場事業 公認サンタクロースとクリスマス会	12月	乳幼児対象 37名参加 国際資格である「公認サンタクロース」を幼児クラブに呼び、一緒にクリスマス会をおこないました。サンタクロースからの言葉でお母さんが涙ぐむ場面もあり、とても好評でした。

<p>子育て広場事業 子育て講座</p>	<p>10月11月 3月</p>	<p>3回開催 合計44名参加 子育て中の保護者に栄養士による栄養相談等の場の提供しました。今年度は、江崎グリコに協力いただき、セミナーを開催、合わせて相談にも対応してもらいました。3月は東日本大震災の日に合わせて災害時の対応を学ぶなど工夫を凝らしました。</p>
<p>児童センター事業 利府町児童館・児童クラブ ネットワーク研修</p>	<p>12月</p>	<p>町内の児童館・児童クラブ職員対象 2回合計51名 利府町内の児童館・児童クラブで働く職員のスキルアップを目指し開催しました。今年度は救急救命と個人情報についておこないました。</p>

着色セルの事業数のみ入力	自己評価集計		事業数	基礎点	実績点
	指定事業		3	6	4
	提案事業		14	28	22
	自主事業		29		29
	合計		46	34	55
町評価集計		事業数	基礎点	実績点	
指定事業		3	6	5	
提案事業		14	28	22	
自主事業		29		29	
合計		46	34	56	

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（5段階）	自己評価理由	評価（%）
S	<p>○児童健全育成事業/地域交流推進事業 町の中心となる児童福祉施設として、何をしていけばよいのか悩み多き一年でした。子どもたちの居場所づくりのためにどうしていけばよいのか、特に中高生世代の取り込みには、満足する結果が生まれませんでした。その中で、練習として部屋を貸し出す中で生まれた利府中学校吹奏楽部との交流や自宅でも手作りしてもらいたいと始めた「食」のワークショップでの姿など、来年度につながるヒントがたくさんありましたので、今後に生かしていきます。</p> <p>○子育て支援事業 これまでの子育て広場事業を引継ぎ始めましたが、開館時の混雑により地域の子育て世代に敬遠される結果となってしまいました。そのため、行事を町民限定にしたり、とっふこデーに設定し、地域優遇の処置をとり、徐々に来館者割合も増えてきました。ただ、相談件数をもっと増やすなど、コミュニケーションの面において、まだまだ足りないと考えております。</p> <p>○放課後児童クラブ事業 新しい環境ということもあり、子どもたちも職員もなれるまでに時間がかかり、落ち着くまでに時間をようしてしまいました。お楽しみ会など、発達段階を考えながら、自主性を重んじる活動が生まれたことはよかったですと思っていますが、保護者対応など課題も多くあることは自覚しております。今後も、職員研修などを通してスキルアップに努めていきます。</p>	162%

町評価（5段階）	町評価理由	評価（%）
S	<p>昨年4月に新たな児童福祉の拠点施設として開館以降、多くの来館者があり対応に苦慮していたが、入場整理券の配布や利府町民が優先利用できる「とっふこデー」を設ける等、臨機応変に対応して頂いた。</p> <p>児童クラブの運営では、入所する児童数が大変多い中でも、子どもたちに「目配り・気配り」しながら、様々な事業を実施するなど、子どもたちが楽しく過ごせるように運営に努められていた。地域との交流事業が少なかったため、今後は積極的な交流を図ってほしい。</p> <p>子育て広場も町内外含めて利用者が大変多く、事業を軌道に乗せることに苦慮していたが、徐々に定着してきていると感じている。相談事業は、保護者の方々が安心して相談できる環境を提供できるように、今以上に尽力して頂きたい。</p> <p>児童館事業については、特に中高生世代の居場所づくりについて、様々なチャレンジを試みていたと感じているが、まだ定着までは結びついていないので、今後も学校と密に連携を図りながら居場所づくりに注力してほしい。</p> <p>なお、児童福祉の拠点施設として、西部児童館・東部児童館とも連携を図り、地域交流も積極的に行いながら、今後の運営へ繋げてほしい。</p>	165%

利府町中央児童センター モニタリング評価【収支状況シート】

利府町

評価年度

令和 6 年度

●経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	前年度予算	今年度決算	予算決算比
収入 (a)		78,399	0
指定管理料		78,399	0
利用料金収入			0
(うち、減免補填額)			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)		78,399	0
人件費		46,761	0
事務事業費		5,656	0
維持管理費		3,726	0
その他の支出		22,256	0
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			